

021

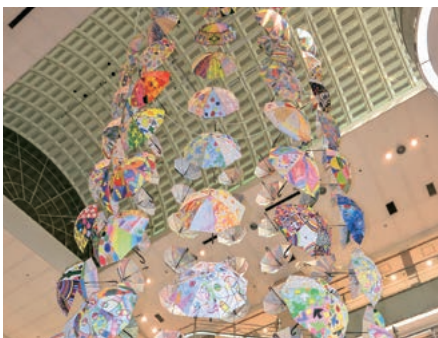
障害者芸術・文化祭事業

きらめく傘のアートプロジェクト

- 開催日：令和5年10月7日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：香林坊アトリオ、イオンモール新小松、イカの駅つくモール

複数
エリア

県内各地



◆実施状況

全国から応募のあった「ぬりえ」を組み合わせてデザインした色鮮やかな「傘」で大型アート作品を作成し、大会のシンボルアートとして、県内3カ所の大型商業施設等で展示しました。

「ぬりえ」は、障害の有無に関わらず、誰でも気軽に参加できるように、難度に幅を持たせた10種類の図柄を用意し、全国の3,827名、年齢は1歳から105歳までの幅広い世代から7,877点の応募が寄せられました。

1本の傘には、8種類のデザインを採用し、全体で約200本の傘で会場を彩りました。特に、金沢市の香林坊アトリオでの展示は、高さ18mから吊るされたカラフルな傘に、買い物客は足を止め、写真撮影なども楽しんでいただきました。

また、香林坊アトリオとイオンモール新小松では、それぞれ10月7日、10月21日にオリジナルの傘を作るワークショップを開催しました。

大会終了後、展示した傘の一部は希望者に販売し、収益の一部を障害者芸術・文化活動を支援する団体に寄付したほか、障害者施設や学校にも寄贈するなど、様々な形で活用していただいています。

【展示期間】

香林坊アトリオ：10月7日(土)～11月26日(日)

イオンモール新小松：10月14日(土)～10月31日(火)

イカの駅つくモール：11月9日(木)～11月26日(日)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

022

障害者芸術・文化祭事業

きらめく個性!全国障害者作品展

- 開催日：令和5年10月8日(日)～10月18日(水) ※16日(月)休館
- 開催会場：石川県立音楽堂 交流ホール

金沢
エリア

金沢市



◆実施状況

「全国障害者芸術・文化祭」のメイン行事として、大会開会前の10月8日から10日間にわたり、障害のある人のアート作品を全国から一堂に集めた展覧会を開催しました。

作品は、43都道府県から絵画、書道、写真、立体の4部門で697点の応募をいただき、実際に出品いただいた670点を展示しました。

全国の障害のある人が描いた文字や絵をデザインした色鮮やかな「傘」を空中に浮かべた特別展、さらに、自分だけのオリジナル作品が制作できる「和傘絵付けワークショップ」も開催し、会期中、約3,000名の方々に来場いただきました。

期間中の16日には、天皇皇后両陛下が御視察され、絵画や九谷焼の作品を熱心に御鑑賞いただくとともに、作家のお二人にも、温かいおことばをお掛けいただきました。

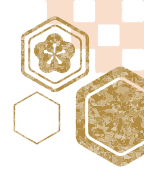
来場者がお気に入りの作品を選ぶアンケート投票を行い、部門ごとに「きらめく賞」作品を選出し、作品は、その後に開催した「ISHIKAWA みらいアート展～県内障害者作品展～」の会場でも展示し、より多くの方々に鑑賞いただきました。

【展示数(応募数)】絵画 489点(507点) 書道 45点(50点) 写真 14点(15点) 立体 122点(125点) 合計 670点(697点)

<特別展協力>一般社団法人 シブヤフォント

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

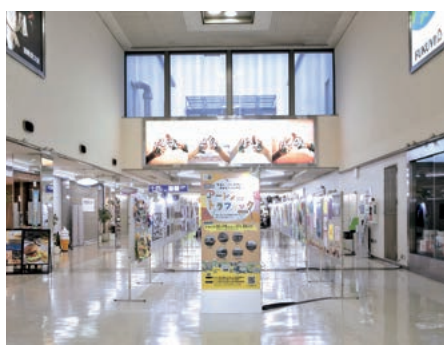


障害者芸術・文化祭事業

023 アート×トラフィックいしかわ

●開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
●開催会場：県内各公共交通機関等

全域
県内各地



◆実施状況

県内の空港や鉄道・バスなどの公共交通機関を活用して、障害のある人が描いた美術作品等を大会期間中に展示しました。

空港では、出発ロビーにおいて、特別支援学校生や障害者支援施設利用者が制作した美術作品を展示し、空港利用者から「温かい気持ちになって飛行機に搭乗できた」と好評を博しました。

鉄道・バスでは、車内に、記憶だけを頼りに写真のような鉄道の絵を描く福島尚さん(埼玉県)の作品や、県内の障害者支援施設利用者による「鉄道」をテーマに描いた作品のポスターを展示し、障害のある人の個性を活かしたアートの世界を通勤・通学などで利用する多くの方々に楽しんでいただきました。

このほか、のと鉄道では、大会のロゴマークをデザインしたオリジナルのヘッドマークを掲出した車両も運行しました。

【展示場所等】

<空港：出展障害者支援施設数、特別支援学校数>

小松空港(国内線出発ロビー)：11施設、9校 のと里山空港(市町PRコーナー)：5施設、3校

<鉄道・バス>

IRいしかわ鉄道、のと鉄道、北陸鉄道(鉄道線・路線バス)

※各事業者1編成または1台程度で展示

展示作家：上野克也、橋爪健太、福島尚、古地雄次、宮田利博、柳瀬信宏 展示作品数：15点

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

障害者芸術・文化祭事業

024 ISHIKAWA みらいアート展 ～県内障害者作品展～

●開催日：令和5年10月25日(水)～11月5日(日)
●開催会場：石川県政記念しいのき迎賓館

金沢 エリア
金沢市



◆実施状況

県内の障害のある作家や特別支援学校の生徒が制作した作品など、約100点の個性きらめく作品の展覧会を開催しました。

県内の障害のある作家の展示コーナーは、金沢美術工芸大学の学生が、作品の選定から展示までをコーディネートし、障害者支援施設利用者の作品展示コーナーでは、創作の様子も映像で紹介するなど、普段、美術に触れる機会の少ない方々にも関心を持ってもらえるよう工夫しました。

なかでも、県内の障害のある作家の作品は、動物やバスケットボールなどを題材にした作品が並び、鑑賞した方からは、「温かい気持ちになれた」、「もっとたくさんの人に見てほしい」との声をいただきました。

このほか、視覚に障害のある人も手で触れて鑑賞することができる「ふれてみる彫刻展」や、全国障害者作品展の人気投票で選ばれた「きらめく賞」作品を展示したほか、特別企画として、人気漫画「聲の形」の原画約60点を展示し、漫画ファンにも障害者アートを知っていただく契機にもなりました。

【実施内容】

<1F>・県内の障害のある作家や特別支援学校生の作品展示

・和傘作りワークショップ(土日祝日限定)

<2F>・人気漫画「聲の形」原画(61点)の展示 ・「きらめく賞」作品(17点)の展示

・障害者アート活用モデル事業の取組紹介と商品販売 ・「ふれてみる彫刻展」(9点)の開催

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会
▽共催 石川県政記念しいのき迎賓館

025

障害者芸術・文化祭事業

コバで巡る美術鑑賞会

- 開催日：令和5年11月11日(土)～11月12日(日)
- 開催会場：石川県立美術館

金沢
エリア

金沢市



◆実施状況

目の見える人、見えない人、見えにくい人が集まり、それぞれの見方や経験を持ちより、コミュニケーションをとりながら一緒に美術作品を楽しむ鑑賞会を2日間で3回実施しました。

参加者は、展示室の中で作品について、「見えること」と「見えないこと」を言葉や手話で共有しながら鑑賞する新しいアートの楽しみ方を体験し、参加者からは、「1人では出会えない美術の楽しみ方を発見することができ、楽しく豊かな時間を過ごせた」との声が寄せられました。

<協力>視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

026

障害者芸術・文化祭事業

仮囲いアートミュージアム

- 開催日：令和4年10月5日(水)～令和5年11月26日(日)
- 開催会場：金沢城公園(二の丸御殿の復元事業地)

金沢
エリア

金沢市



◆実施状況

開催1年前の10月より、金沢城二の丸御殿の復元整備現場の仮囲いの壁を活用し、県内外の障害のあるアーティストが描いた作品を大きくプリントして展示した、「Social Art Museum」展を実施しました。

会場となる金沢城公園を訪れる多くの方々に、全国障害者芸術・文化祭をPRするとともに、障害者アートに対する関心を高めることができました。

また、作品の制作・展示にあたっては、障害のある方の社会参加の促進に取り組む民間企業2社(株式会社ヘラルボニー・大和リース株式会社)にご協力をいただきました。

【R4.10.5～R5.4.17 展示作品】※「作品名」作者(出身地)

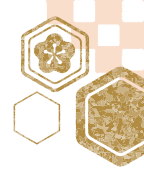
「心象風景」市村悠賀(石川県)、「3色」高橋雅(石川県)、「お母さんありがとう」鈴木広大(東京都)、「無題」佐々木早苗(岩手県)、「情熱」Fumie Shimaoka(大阪府)、「ドロップス」輪島楓(石川県)、「パープル」輪島貫太(石川県)、「はなのくびかざり」小林覚(岩手県)

【R5.4.18～R5.11.26 展示作品】

「Scratch Works Yay!Yay! No.21」岡部志士(三重県)、「ひまわり」細川陽平(石川県)、「ヴェニクンカ山」中島敏也(宮城県)、「踊りながら通過電車」早川拓馬(三重県)、「ハイビスカス」福井将宏(鳥取県)、「カナダ」向野浩平(石川県)、「イマージュ 私の中の百人一首」高峯梨紗(石川県)、「北陸新幹線」古地雄次(石川県)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



027 障害者芸術・文化祭事業 **手話狂言** 金沢エリア 金沢市

●開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
●開催会場：石川県立能楽堂



◆実施状況

日本ろう者劇団のろう者の俳優が台詞を手話で表情豊かに表現する「手話狂言」を実施しました。

一休さんのとんち話として登場する「附子」や海外でも上演されたことのある「六地藏」といった子どもにも分かりやすい2演目を披露していただき、会場では、聞こえる人からも聞こえない人からも大きな笑いが何度も起こりました。

公演を鑑賞した障害のある人からは、「周囲の目が気になって能楽堂に行けなかったが、手話狂言で初めて訪れることができ、楽しめた。また来たいと思った。」との声が寄せられました。

また、公演前日の21日に、「手話狂言ワークショップ」を開催し、約30名の参加者が、実際に足袋を履いて能舞台に立ち、手話による表現や基本の構え・摺り足などの動きを体験しました。

【公演プログラム】

手話狂言解説、演目①「附子」、演目②「六地藏」

※2回公演(午前の部、午後の部)

【出演団体】日本ろう者劇団

【声の出演】三宅狂言会

【出演・指導】三宅右近

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

028 障害者芸術・文化祭事業 **ウゴク&エガクワークショップ** 複数エリア 県内各地

●開催日：令和5年10月21日(土)～11月19日(日)
●開催会場：金沢市民芸術村、宇宙科学博物館コスモアイル羽咋、サイエンスヒルズこまつ



◆実施状況

障害のある人もない人も互いに交流しながら、思い思いの絵を描いたり、ダンスを楽しむワークショップを県内3カ所で実施し、延べ502名が参加しました。

講師として、ダンスアーティストのなかむらくるみさん、現代美術作家の村住知也さんに指導いただき、金沢会場のエガクワークショップでは、薄暗い中、ブラックライトで光る蛍光塗料で大きな紙に絵を描いてもらい、能登会場のウゴクワークショップでは、ビニールチューブの宇宙船の周りを舞台にダンスをしてもらうなど、安心できる空間の中で体を動かす楽しさを味わいながらアートに親しんでもらいました。

参加者からは、「型にはめず自由な形で家族全員が楽しめた」、「障害による隔たりのないイベントに感動した」との声が寄せられました。

<金沢市民芸術村：10月21日(土)、22日(日)>

ブラックライトで光る蛍光塗料で大きな紙に描いた絵を背景に、ダンスを取り入れたファッションショーを開催

<宇宙科学博物館コスモアイル羽咋：11月3日(金・祝)～5日(日)>

中と外に絵を描いたビニールチューブの宇宙船を舞台にダンスで交流

<サイエンスヒルズこまつ：11月18日(土)、19日(日)>

オリジナルの絵を描いたダンボールハウスが並んだ街の中で感じたことを体を動かして表現

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

029

障害者芸術・文化祭事業

きらめくステージ -障害のある人もない人もともに-

- 開催日：令和5年10月28日(土)
- 開催会場：石川県立音楽堂 邦楽ホール

金沢
エリア

金沢市



◆実施状況

特別支援学校生と県立高校生が初めて一緒に舞台上立ち、和太鼓の演奏や手話パフォーマンスなどを披露しました。発表するジャンルの学校同士で、何度も合同練習を積み重ね、本番ではお互いに寄り添う心を持って、音やリズムを合わせることができ、参加した特別支援学校生からは、「大きな舞台を経験でき、自信になった」との声をいただきました。

このほか、ステージと会場が一体となって、パーカッションを楽しむパフォーマンスや東京パラリンピック開会式にも出演した義足のダンサー大前光市さんによる圧巻のステージ、左手のピアニスト、視覚に障害のある邦楽奏者とトランペット奏者による心揺さぶられる演奏が披露されました。そして、フィナーレでは、プロアーティストによる、この日限りのスペシャルコラボ企画として、櫻榮咲誇(さくらさかえさきほこれ)が披露され、芸術性の高いパフォーマンスで観客を魅了しました。

【出演者・出演団体】

<パーカッション> 河原井みつる(他2名)

<出演高校> 石川県立いしかわ特別支援学校、石川県立金沢向陽高等学校、石川県立盲学校、石川県立金沢桜丘高等学校、石川県立ろう学校、石川県立田鶴浜高等学校、奈良県立ろう学校

<プロアーティスト> 大前光市(ダンスパフォーマンス&トーク)、富田清邦(邦楽奏者)、澤村祐司(邦楽奏者)、黒崎菜保子(ピアニスト)、藤井幹人(トランペット奏者)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

030

障害者芸術・文化祭事業

バリアフリー映画上映会

- 開催日：令和5年11月3日(金・祝)、5日(日)、12日(日)
- 開催会場：石川県立図書館、辰口福祉会館、のとふれあい文化センター

複数
エリア

県内各地



◆実施状況

セリフや効果音などを字幕で表示する「バリアフリー字幕」や、人物の動きや表情など「画」の情報を音声で伝える「音声ガイド」により、障害の有無にかかわらず誰でも楽しむことができる「バリアフリー映画上映会」を県内3会場で開催しました。

会場は、上映中も出入り自由とし、場内の照明も明るめに設定したほか、看護師を会場内に配置するなど、安心して鑑賞できる空間を作りました。

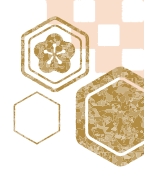
【上映作品】

『映画ドラえもん のび太の新恐竜』

『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



031 障害者芸術・文化祭事業

障害者アート・シンポジウム

● 開催日：令和5年11月19日(日)
● 開催会場：金沢市アートホール

金沢 エリア
金沢市



実施状況

タレントのセイン・カミュさんをお迎えし、障害者アートの可能性を探り、考えるシンポジウムを開催しました。

基調講演では、セイン・カミュさんに、知的障害のある妹さんの創作活動をきっかけに、障害のあるアーティストの支援に積極的に取り組むこととなったご自身の経験などを語っていただきました。

続くパネルディスカッションでは、障害のある人の芸術活動を支援している県内外の4名をパネリストに、地域における先進的な取り組みを紹介いただいたほか、障害者アートの可能性について、意見を交わしていただきました。

参加者からは、「障害のある人の文化芸術活動をこれからも応援していきたい」という声をいただきました。

【出演者】

- <opening act>熊谷永子(フルート)、黒崎菜保子(ピアノ)
- <第1部 基調講演>セイン・カミュ(タレント、(一社)障がい者自立推進機構理事)
- <第2部 パネルディスカッション>
- コーディネーター：寺井剛敏(金沢美術工芸大学教授)
- パネリスト：国枝千晶(金沢アート工房代表)、菊義典(文化・芸術活動支援センターかけるセンター長)、新井博文((株)ヘラルボニーアカウント部門シニアマネージャー)、磯村歩((一社)シブヤフォント・(株)フクフクプラス共同代表)

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

特別連携事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

032 加賀公演「新進気鋭実力派アーティストのステージ」

● 開催日：令和5年10月3日(火)
● 開催会場：石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

加賀 エリア
小松市



実施状況

設立35周年を迎えたオーケストラ・アンサンブル金沢が、今注目のチェロ奏者の柴田花音さんと共演し、指揮の佐々木新平さんが躍動感あふれる音色を引き出しました。

日本初演となるファジル・サイのチェロ協奏曲「Never Give Up」など3曲を披露し、観客は新進気鋭の実力派によるステージに魅了されていました。

【プログラム】

- バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
- サイ：チェロ協奏曲「Never Give Up」
- ベートーヴェン：交響曲第4番 変ロ長調 作品60

【出演者】

- チェロ：柴田花音
- 指揮：佐々木新平
- 管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

主催 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団